



114
A 852



第八十二號

大隈外務大臣

在英 加藤公使

電信譯文

明治三十三年九月十九日發
全三頁着

大隈正
侯爵郵
寄四
贈月

「カンクーベリ」大僧正、夫人并他、有力ナル貴婦
人數名ハ目下米國滞在中、小鹿島夫人及津田梅
子ヲ招待シ英國ノ教育制度ヲ視察セシメ度ニ付
六ヶ月若クハ八ヶ月間ノ滞在中ハ居室ヲ供シ費
用ヲ辨スヘキ旨ヲ申出右兩名ノ海外滞在期間ヲ
延長セラレ、様本使ヨリ帝國政府へ申請センコ
トヲ依頼セリ想フニ兩婦人ニテ如斯補助ノ下ニ

外務省



渡英セハ有益ナル効果アルヘシ尤モ西婦人ハ未
タ右招待、コトヲ承知セサルヘキニ因リ若シ日
本政府ニシテ談企圖ヲ認可セラル、ニ於テハ西
名ニ對シ直接ニ必要ノ訓令ヲ與ヘラレタシ察ス
ルニ本件ハ在東京「ブドリー」僧正夫人ノ發起ニ
係ルカ如シ右ニ就キ閣下ノ決定ヲ電報アリタシ
本使ハ西婦人ニ對シ詳細ノ書狀ヲ認メ居レリ